

橿原市で相次いで発見されたヒゲコメツキの雌雄型の記録

池田 大

Records of gynandromorphs of *Pectocera hige* found one after another in
Kashihara City

Hiroshi IKEDA

キーワード：ヒゲコメツキ, 雌雄型, 橿原市

Key Word: *Pectocera hige*, gynandromorph, Kashihara City

ヒゲコメツキの雌雄型（雌雄モザイク）個体を同時期、同所的に2個体採集しているのを報告する。

ヒゲコメツキ *Pectocera hige* Kishii, 1993

1 ex., 奈良県橿原市南山町 橿原市昆虫館, 14. V. 2021, 筆者採集, 橿原市昆虫館保管 (図左)

1 ex., 奈良県橿原市南山町, 17. V. 2021, 森井晴美採集, 橿原市昆虫館保管 (図右)

両個体は体長に差があるが、形態的な特徴は非常によく似ている。全体にメスの特徴が強く発現しており、左触角にオスの特徴を確認できる。だが両個体とも通常のオス個体の触角に比べ櫛の発達が弱い。交尾器の外部形態は両個体ともメスであった。

1個体目（5月14日採集）は、筆者が出勤した際、

昆虫館の壁に静止しているのを発見した。2個体目（5月17日採集）は、森井晴美氏が畑で農作業されていた際、土の上を歩く本個体を発見。翌18日に昆虫館に持ち込み、木村史明学芸員が雌雄型であることを確認した。今回発見された2個体の採集地点は直線距離にして約100mであり、ほぼ同所的といってよい距離である。

昆虫の雌雄型はあらゆる分類群で時折発見されているが、1個体のみ見つかることがほとんどであり、野外で複数個体が同所的に採集された事例は非常に少ないと思われる。

末筆ではあるが、採集個体を昆虫館に提供し、本誌への掲載に快諾いただいた森井晴美氏、提供を受けしばらくお世話をいただいた福本初津美氏、久禮理史氏にお礼申し上げます。



図 ヒゲコメツキの雌雄型 左：5月14日採集個体, 右：5月17日採集個体 (スケールバーは10mm)。